



学校だより No.8

令和7年(2025年)度
児童数612名
(11月25日現在)

西岐波わくわく祭り ～ふるさとを愛し～

10月18日(土)に、「西岐波わくわく祭り」を実施しました。

午前中の前半は、「西岐波鑑賞タイム」です。まず、今年は西岐波保育園の園児さんをお招きし、元気でリズムカルな発表をしていただきました。続いて、5年、6年の音楽発表です。それぞれテーマ性のある内容の音楽を、これまでの練習をしっかりと発揮した素晴らしい発表で、聴いている子どもたちからも素敵な感想が発表されました。

午前中の後半は「西岐波発見タイム」です。今年は、学年により内容は異なっても、全学年が「西岐波地区の方をお招きして学ぶ」という共通テーマで実施しました。

○**1・2年**：「昔遊び」を教えていただきました。ケンケンパ、ゴムとび、福笑い等について、楽しむためのコツや工夫を教えていただき、一緒に楽しみました。

○**3年**：「西岐波みかん」について教えていただきました。みかんや作業用具等をご準備いただき、作業の様子やおいしいみかんが育つ秘密をお話していただきました。

○**4年**：「西岐波地区の防災」について教えていただきました。パネル写真や防災グッズをご準備いただき、自主防災会としての取組や防災への願いをお話していただきました。

○**5年**：「西岐波音頭」を教えていただきました。西岐波らしさがあふれる歌詞ですので、前半はその歌詞に合わせた動きをご指導いただき、後半はみんなで繰り返し踊りました。

○**6年**：「戦争中の宇部市や西岐波のようす」について教えていただきました。たくさんの画像等を準備いただき、宇部空襲の説明やご自身の経験等をお話していただきました。

下校後の午後は、自由参加とはなりますが「西岐波わくわくタイム」です。PTA主催により、おやじの会や地域の様々な団体、西岐波中の中学生のご協力も得て、遊びや体験、販売等のブースを設置していただきました。心配された雨も降らず、子どもたちとPTAや地域の方等との笑顔やふれあいが、学校中に広がりました。

学校教育目標には「ふるさとを愛し」という言葉があります。「西岐波わくわく祭り」を通じた、西岐波地区の様々な立場や年齢等の方との関わり合いは、子ども達の西岐波地区への関心をより一層高め、学校教育目標へ向けて大きく推進する取組となりました。

あったかことばの木 ～ポジティブ行動支援～

学校では今年度、「ポジティブ行動支援」を心がけています。これは、子どもへ向けて、望ましい行動を教え、その発揮を促し支え、できていることに注目して価値づけるという取組であり、ポジティブな行動をポジティブな方法で支援していくものです。

その一つとして、「あったかことばの木」という取組を行っています。これは、チャレンジ目標の一つ「あったかことば」をより一層広めるために、代表委員会で児童が話し合ったことをもとにした取組です。まず各クラスで「ありがとう」「いいね」など、相手を大切に思うことばの広がりを促します。そうしたことばが各クラスで広がっていることが分かれば、「あったかことばの花」(掲示物)として、全校で一本の「あったかことばの木」(掲示物)に貼っていきます。こうして、「あったかことばの木」を見ると、学校全体でどれくらい「あったかことば」が広がっているかが分かります。

このように、「あったかことば」という望ましい行動を教え、促し、できている姿に注目して価値づけ、その積み重ねを視覚化していくことで、全校の高まりを実感しています。

この取組だけでなく、様々な場面で、ポジティブ行動支援に取り組んでいます。今後もポジティブ行動支援に取り組むことを通して、教職員からはもちろん、子どもたち相互に、そして保護者・地域の方からも、子どもの望ましい姿に注目し、「認める」「ほめる」「価値づける」等の積極的な働きかけを広げていきたいと思います。(校長 川西 俊之)